

まめばたけにいったよ

脚本、絵 おしのもこ

演出ノート

ともねちゃん、しんちゃんは おばあちゃんの

えだまめばたけに やってきました。

ともねちゃん

「おばあちゃん てつだいにきたよ！」

おばあちゃんに
むかって
よびかける

おばあちゃん

「ともねちゃん、しんちゃん よくきたね」

うれしそうに

ともねちゃん

「わたし えだまめとるの はじめて！」

しんちゃん

「ほく まめごはん たべたい！」

げんきよく

おばあちゃん

「ほつら これがえだまめの はたけじゃ」

ぬく

演出ノート

げんきよく

「はあちゃん、いっぱいとりよー！」

しんちゃん
「みてみてー！」

ともねちゃんと しんちゃんは

はたけにはいって えだまめを ぶちぶちと

とりはじめました。

おまおま
「ちがう ちがう！」

びっくりに

まず えだから ぬくんじゃよ

しんちゃん
「ええ〜？」

「これをぬくの〜？」

ぬく

演出ノート

画面をおもそくに
ゆらしながら
演じてもいいでしょう

いっしょにつくために

くやしそつに

くもねちゃん
「うーんうーん」

しんちゃん
「ぬけないー!」

えだまめは　しっかりと　じめんにねをはって

ぬけません。

てが　ひりひり。

あせが　じわーっとでてきました。

くもねちゃん
「よいしょ　よいしょ　よいしょ!」

しんちゃん
「まーめーごーはん　たべるんだー。

まってるーえだまめー」

ぬく

ちからをこめて

どっし〜ん！わあ〜！

ともねちゃん、しんちゃんは

しりもちをついてしまいました。

「やったあー！」
しんちゃん

「とつとつ ぬけたよー！」
ともねちゃん

おしりは じんじん。

でもふたりとも へっちゃらです。

げんきよく
うれしそうに

ぬく

演出ノート

えだから まめを もいでいきます。

「いっばいとおどろくー！」
こやねおやね

ぶっちゃんぶっちゃん

しんちゃんは ちからいっぱい ひっぱりました。

「ほらほら おほおほ まめが いたがっっておるぞ」

よくみると はんぶんちぎれたり

かけたりしています。

「あっ こやねおやね こんどはていねいにやるよ」

げんきよく

まめをもぎとるおと

やさしく
さとすように

すまなそうに

おばあちゃん

「ねえ おばあちゃん

まめって いっぱい けがはえてるね」

おばあちゃん

「むしから まもるため。

それに みずをいっぱい きゅうしゅうするため。

つまり おいしいまめになるためじゃあ」

ともねちゃん

「それにまめは 『はたけのおにく』 っていうくらい

えいようがあるんですよ。ママがおしえてくれた」

おばあちゃん

「さすが おねえちゃん よくしっとるね」

しんちゃん

「ええ？まめなのに おにく？おもしろいね！」

ふじきょうに

かんしんして

ぬく

おおきな おなべでぐつぐつゆでて

しおをパツパツパとふったら

ゆでまめの できあがりです。

「あはははー！メガネまっしろ！」
あはははー

おばあちゃんのメガネは ゆげで しろく

くもっています。

ぐつぐつぐ

「ぼく おなかへったあ！」
しんちゃん

「わたしも おなかへこへこー！」
おなねちゃん

「ようし！きょうは まめパーティーじゃあ！」
おばあちゃん

おなかのおと

げんきよく

ゆつくりぬく

みなでとった えだまめは

いろいろな りょうりになりました。

ゆでまめ、まめサラダ、まめスープ、

まめむしケーキ、そしてまめおむすび！

「はたけのえだまめは おはあちゃん これから だいずになって

みそをつくるんじゃよ」

「へえ、えだまめって ともねちゃん すごいー！」

「ぼくも しんちゃん おみそつくりたいー！」

「みそづくりのときも おはあちゃん てつだいにおいで。まってるよ」

「うんー しんちゃん」

画面をゆびさしても
いいでしょう。

げんきよく

うれしそうに

ぬく

みんなで おなかいっぱい たべました。

ともねちゃんと しんちゃん

まめをたべて おおきくなあれ！

ねがいをこめて

おしまい